

RI会長  
バリー・ラシン

インスピレーションになるう

ま  
る  
が  
め

## 週報

2019.2.7  
Vol.56  
№29  
(2740)
 会員数 60名 出席者44名・欠席者14名・免除会員3名  
 欠 席 者 麻田・和泉享・松山・菅・竹内一・馬場・天野・有家・大西信・齋賀  
 中野昌・眞鍋・森・山内孝-会員

前々回出席率 77.19%(1/24)

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

 会 長 川原 一夫  
 幹 事 福田 洋子  
 会報委員長 岡田 将一郎

## お知らせ

- ∴ 2月のプログラム  
7 (No.1)-クラブフォーラム  
14 (No.2)-客話  
21 (No.3)-職場例会  
28 (No.4)-会員卓話
- ∴ 他RC例会変更  
坂出東 2/13→2/2 清掃活動  
丸亀東 2/26 夜間例会  
3/12→3/9 IM参加
- ∴ ニコニコBOX;  
祝誕生月  
岡田君  
祝結婚月  
山田君  
よいことがありました  
秋山憲夫君  
なんとなく  
中川君  
卓話を終えて  
横田君  
米寿のお祝いを盛大にして頂き  
ありがとうございました  
橘君  
米寿を祝う会多数のご参加  
ありがとうございました  
大熊君  
米寿の会楽しい集いでした  
川原君 福田君  
クラブフォーラムを終えて  
大西和彦君

〈ニコニコ会計累積/ ¥326,823〉

例  
会  
場  
・  
事  
務  
局丸  
亀  
市  
塩  
飽  
町  
50  
|  
3  
丸  
亀  
プ  
ラ  
ザ  
ホ  
テ  
ル  
内

## ■会長挨拶

地方の過疎化が問題となっている現在、定住する若者が急増し、出生率が全国平均を大きく上回る町があると聞きました。周囲を山に囲まれ、「A級グルメ」の食材に恵まれた島根県邑南(おおなん)だ。邑南町は、島根県の西部に位置し、人口1万人。石見牛、石見ポーク、味の濃い野菜などで有名な町です。自治体を「A級グルメのまち」と称し、レストラン「AJIKURA」などをつくり、また「食」の学校や、起業支援などを行った結果、定住する若者が急増しているそうです。今の若者にとっての豊かさは、お金よりプライベートな時間です。都会では得られない地方の豊かさ、楽しさ、魅力を伝えることが大切だと思えます。

## ■幹事報告

①本日例会の後理事会があります。

## ■理事会報告

## ①3月4月プログラム承認

3月14日から16日に変更 12時から例会その後、善行表彰式

## ②善行表彰について

個人4 団体3 を表彰 10時より準備12時より例会  
食事はお弁当を用意します

## ③丸亀城石垣修復に対する寄付について

100万円を目標に会員皆様に協力をお願いする。  
不足は社会奉仕基金より出金する。
 ■例会事業;クラブフォーラム;世界社会奉仕委員会・ロータリー情報委員会  
 世界社会奉仕委員会 石合由明委員長

1 世界社会奉仕委員会とは、World Community Service 略してWCSという。WCSの目的は、援助を必要としている人たちの生活の質を国際奉仕を通じて高めるということであり、その基準としては、①プロジェクトが人道的なものであること、②2か国以上のロータリアンが関与すること、③プロジェクトは、このうちいずれか一か国で実施されることである。

2 他のクラブでは、相手国の学校への支援、井戸などの飲み水の確保のプロジェクトなどを行っている。

3 今後は、世界的に、発達障害者への支援等の事業の必要性が高まるのではないかと考えられる。現に、発達障害の関するセミナーを開催しているクラブもある。

4 最後に、ナチの手から「669人のチェコの子供たちを救った」ロータリアン、ニコラス・ウイントン氏の、「一見不可能なようでも必ず道はある。もし人がそれに全身全霊でそそぐと決意したら」という言葉を紹介した。



2019.2.7  
Vol.56  
№29  
(2740)

∴ がんばるBOX;  
クラブフォーラムを終えて  
石合君  
丸亀ハーフ応援ありがとうございました  
尾崎君  
橘様の米寿のお祝い  
増田君  
妻の葬儀ありがとうございました  
富田君  
祝結婚月  
後藤君  
世界社会奉仕寄付金ご協力ありがとうございました  
高岡君

## 2018-19年度 国際ロータリー バリー・ラシン会長方針

ロータリアンが「インスピレーションになろう」

「インスピレーションになろう」113年前の創設以来、ロータリーの役割は、世界において、また会員の人生において、絶えず進化してきました。ロータリーはその初期、会員が親睦と友情を見つけ、地域社会で人々とのつながりを築く方法を提供していました。その後ほどなくして、ロータリーに奉仕が芽生え、組織の成長とともにその影響も膨らんでいきました。間もなく、ロータリー財団の支えもあって、ロータリーの奉仕は世界中の家族や地域社会の人々の生活を変えていくようになりました。活動の成果を高めるために、他団体とのパートナーシップや奉仕の重点分野を生み出しました。



ポールハリスが述べたように「ロータリーは、世界平和の縮図であり、国々が従うべきモデル」です。私にとって、ロータリーは、単なる「モデル」ではなく、インスピレーションです。ロータリーは、可能性を指し示し、そこに到達する意欲を引き出し、行動を通じて世界の「インスピレーションになる」ための道を拓いてくれるのです。

川原会長方針として、2018-2019年度のバリー・ラシン会長の方針テーマは、ロータリアンが「インスピレーションになろう」です。インスピレーションの言葉は、日本語に訳すると難しく、辞書によると感動、鼓舞、刺激、閃きです。バリー・ラシン会長は変化を生み出そうという意欲を、ロータリアンの心に芽生えさせていただきたいのです。もっと何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進しようといわれています。

丸亀ロータリークラブは、伝統のあるクラブであり、若手の人材も多く、他クラブからの期待も大きいものがあります。なによりも会員自身がクラブ会員であってよかったですと誇りに思えるクラブであります。職業奉仕の理念を互いに学びあい、自己を高めて、積極的に地域社会に行動を起こしてまいりましょう。

<がんばる会計累積/¥284,000>